

**放射性セシウムと放射性  
ヨウ素の沈着状況**

**福島県の環境試料（福島第一原発事故直後）**

**飯館村村民の森あいの沢  
（平成23年3月17日採取）**

**雑草（葉菜）（Bq/kg）**  
 ・ I-131 892,000  
 ・ Cs-134 314,000  
 ・ Cs-137 318,000

**陸土（土壌）（Bq/kg）**  
 ・ I-131 336,000  
 ・ Cs-134 32,000  
 ・ Cs-137 33,700

**陸水（池水）（Bq/kg）**  
 ・ I-131 2,480  
 ・ Cs-134 443  
 ・ Cs-137 476

採取場所	採取日	雑草（葉菜） Bq/kg			土壌 Bq/kg		
		I-131	Cs-134	Cs-137	I-131	Cs-134	Cs-137
二本松市東和支所	3月17日	152,000	107,000	110,000	35,800	5,440	6,230
飯館村柔剣道場	3月16日	1,150,000	546,000	549,000	151,000	22,600	25,100
福島市大波城跡	3月17日	429,000	283,000	292,000	156,000	16,700	18,000

Bq/kg：バクレル/キログラム

文部科学省 「環境試料の測定結果」 平成23年6月7日 より作成

2011（平成23）年3月15日以降、環境試料のモニタリングが行われ、土壌や植物からは高濃度の放射性ヨウ素と放射性セシウムが検出されました。

本資料への収録日：2013年3月31日

本情報は事故当時（2011年）の情報です。

**関連 Q&A**

- ・ 3章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・ 3章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・ 3章 QA3 農地土壌の放射性物質による汚染状況はどのようになっていますか
- ・ 3章 QA4 物理減衰やウエザリング効果は、どの程度だと考えられるのですか
- ・ 3章 QA21 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- ・ 3章 QA22 1980年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム90やセシウム137が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか